



家族の仲が良いですね、と感心されます。本当に仲の良い夫婦であり、家族だと思いません。でも、自然に仲良くなるほど、人間関係は簡単ではありません。私は子供に勉強をしろと言った覚えはなく、優秀にしようと考えてはいけなく、と信じていました。優秀にしようとするれば、その齡にあった子供の自由な時間を奪うことになりまます。子供が楽しく、その齡を過ごすためには、比較など害になるだけだと考えていました。

子供も悪さをするし、喧嘩もして、怒鳴りこまれたり、教師から注意を受けることもありましたが、当然な経験だと考え、叱りませんでした。嫌な教師の車を蹴飛ばして賠償させられたこともありましたが、子供には、「すっきりしたか。」と聞いたものです。よほど、子供も腹を立てていたのでしょう。どんなことがあっても親は子供の味方です。そして、親の見栄や体裁で、子供を裁いてはいけません。

妻とも性格はかなり違います。結婚する前から覚悟していましたが、これほどとは思いませんでした。男と女とは、裏と表ほど、考えること、感じることも、行うことが違うのです。途方に暮れて、ともかく年月が過ぎました。子供よりも質が悪く、変わる余地はありません。私の職業は第一に牧師ですから、日曜と水曜には説教をしなければなりません。つまり、それまでには妻と仲良くしていなければなりません。つらさを語ることはできないのです。キリスト教では、結婚式に誓いをします。「病める時も健やかな時も、富める時も貧しい時も、伴侶を愛し、敬い、自らの伴侶としての務めを果たしますか。」私は牧師ですから、その誓いを確認する立場なのです。

結局のところ、妻を変えようとすることは諦めました。ただ、愛すれば良いのです。責めるべき、嫌だな、と考えた時、一応自分の意見と考へは伝えます。そして、妻の考えを聞きます。妻はご免、と言います。もう、それだけで良いのです。争うよりも、仲良くすることのほうがはるかに難しく、人格を必要とします。だから、夫婦仲の良さは、努力無しには獲得・維持できないのです。

妻のほうの評判が良いので、おそらく私に対しては妻のほうに努力しているのかもしれない。私も直ぐに謝ります。でも、そういう努力をお互いに行っていることがわかってるので、自然に仲良くなってきました。ただ、そのためには、楽しい思い出、楽しい体験を重ねなければなりません。幸せになるためには、忍耐と努力が必要だと思えます。今回は、旅のことを書いてみました。贅沢な旅だと思われて、不快な気持ちを持つ方がいるかもしれません。失礼だったら、お許しください。

事務長 柏崎久雄

*** 感染症又は感染症疑いの方は、入口、診察室、会計の流れが異なります。** 風邪、水ぼうそう、おたふくかぜ、インフルエンザ、はしか、風疹等の感染症の方、又はその疑いの方は、来院時は正面入口横の中央通路わきのインターホンで受付までご連絡下さい。問診票を廊下でお渡ししますので、2階第2診察室待合室にてご記入下さい。診察後のお会計は、処方内容が確定してから、1階に降りて下さい。トイレ後のハンドソープによる手洗いの実施にご協力下さい。

*** インフルエンザ予防接種の受付は、午前は9時まで、午後は17時半(土曜は16時)までです。** 千葉市の高齢者助成は満65歳以上で、自己負担1500円、12月31日までです。当院は、水銀防腐剤不使用のものを使っています。

*** 院長が院外出張のため、11/8(金)、11/22(金)、は午後の診察は3時からです。**

*** 年末は、12月30(月)午前まで診療、年始は1月6日(月)からです。**

*** 栄養指導や個人的ご相談、セカンド・オピニオンなど、内容をお伝えの上、予約をお願いします。** 予約がなく、詳細なご説明を求められても、対応ができません。発達障害の治療には、説明が必要なため、ご予約がないと対応ができません。

*** 「聖書を読む会」11月19日(火)2時〜2時20分**

*** 病児保育ノア。利用料金は一日2000円です。** 千葉市の事業なので、市内在住の方に限ります。定員8名。病状によっては対応できない場合があります。利用の可能性がある方は、事前登録をしておいてください。なお、ノアだけは同じ料金で土曜日も16時まで保育を行います。

*** ㈱ヨーゼフでは、11月に「ヘム鉄α&β8、オリーブ葉エキス、グルカンFD」のキャンペーン販売を行います。** 詳細は会員への案内と店舗でご確認ください。これらの購入は医師処方とはなりませんので、ご注意ください。

*** 11/17(日)午後2時より、待合室で寺田節子千葉県スクールアドバイザーによる家族形成セミナーを行います。無料。**

<外国でドライブを楽しみましょう！>

潤いのある秋、難しいことを書くのもどうかと思い、旅の思い出を勝手に書いてみました。私は旅が大好きで、海外にも45回行ってはいますが、旅行社の企画するツアーは1回だけです。旅の楽しみは計画と準備です。今回は車の運転で気を付けなければならないことと体験を書いてみます。皆さんのご意見もお寄せください。

旅を考える場合、まず、自分の趣味と能力、やりたいこと、一緒に行く人のこともよく考えてください。若い時は一人旅もしましたが、一人旅は誘惑や詐欺そして事件に巻き込まれることも多く、健康や安全面からお勧めできません。夫婦或は仲間と行くわけですが、そういう面で、楽しい旅をするためにも普段から仲良くしておくことが肝要です。心の健康ということで、無理に結びつけたかな？

1. まずは、右ハンドルのオーストラリアかニュージーランド。

オーストラリア人は、穏やかな人々で、道路も複雑ではないので、30分もすれば慣れてきます。ナビも日本語案内になりますが、地図はなく、「○○m先右折」というだけなので、どんなに迷ってもゆっくりその通りに進むことをお勧めします。

市街地では制限速度が低くなり、郊外になると同じ道路で100キロ以上出せますが、監視装置があるので、スピード違反や駐車違反はすぐに捕まります。カンガルーは驚くと動けなくなるようで、100mおきに死骸がありました。大きいのでぶつくと大変です。外国では、なるべく頑丈な車がお勧めです。

有料道路もETCのようなレーンがあり、レンタカーとしては列のある現金支払いレーンを選んでください。罰金は20倍以上になり、私はレンタカー会社に連絡はしてあったのですが、帰国後カードで支払いました。安いのでコインは持っていたほうが良いでしょう。あわてることなく、ゆっくりと対応してください。

駐車場やパークレーンは前払いで、払っていないと罰金です。郵便局で支払いをしますが、田舎にはなかなかないので探し出すのに苦労しました。カナダでは、市役所に行くと自動罰金支払い機があり、カードで払えましたが、面倒ですので、気を付けてください。

私は春にシドニー近辺500キロを長男と一緒に運転しました。ブルーマウンテンへのドライブは長男が無難にしましたが、シドニー市街は車が多くレーンが狭く、ハイウェイも入り組んでいるので大変でした。ブリスベンからケアンズまで冬の8月に1100キロを妻と一緒にドライブしました。原野に牛や馬が放し飼いで、「肉が固くなるな。」と思いながら運転しましたが、タウンズビルで食べたリブアイのステーキは見事でした。白浜の続くミッションビーチでは、初めて日本人を見た、と人が寄ってきました。オーストラリアの東海岸は海外運転の初心者には打って付けで、車は少なく、道は真っ直ぐです。

グリーン島とケアンズでスキューバをしました。その話は別のところでしましょう。竜宮城を見学したようでした。ケアンズのゴルフ場 Paradise Palms Country Club は海が見える素敵なお勧めです。外国では、値段の高いゴルフ場が景色が良く設備も良いのでお勧めです。食事にしても遊びにしても、外国では安くて良いところは決してありません。但し、安く旅行する秘訣は多くあります。これも別の機会でお話しします。

ニュージーランドは、道が狭いのに現地の人の運転が速いので、のんびりと草を食む羊や牛に目を留めていては危ないです。妻は「羊さんがいる！」「あそこにもいる！」と大喜びでしたが、雨の中、現地の車はぶんぶん飛ばして、夜でも追い抜かされました。しかし、のどかな風景と気候は、オーストラリアよりも日本人に合っています。なお、傘は売っておらず、差す人も殆どおらず、雨季は濡れる覚悟を決めたほうが良いでしょう。ロトルアの温泉には水着で多くのカップルが土砂降りの中、入り続けていました。人口が少ないので商業は盛んではなく、原住民は暮らしも大変なようでした。車は必需品です。ドライブインや店はあまりないので、なにか買っておくほうが良いでしょう。

トンガリロ国立公園の Bayview Chateau Tongariro はお城だったところで、ディナーにジーパンでやってきた宿泊客の日本人が入ることを断られていました。昼食と夜食の区別、食事の選び方などは経験するしかありません。妻が水を注文したら、ボトルはどうかと言われ、それにしたのですが、有料なんだよと言ったら、妻はもったいないと飲み干していました。ホテルの横にある世界で一番高い所にあるというゴルフ場でプレーしました。

ニュージーランドは、北島を800キロほど運転して、ガソリンを途中で補給したら、それを考慮

に入れなくてガソリンチャージの料金を取られてしまいました。長く走る場合には、ガソリンを自分で給油する契約にするべきです。オークランドは非常に大きなセンスの良い大都市です。

2. 左ハンドルはグアムかハワイから。

アメリカでは、道に迷っても人に尋ねることはできません。歩いていないし、歩くことは危険です。迷ったらガソリンスタンドに入るだけです。ナビは日本語仕様になりますが、注意深く住所を入れれば到着します。但し、看板や表示がないか小さいので、電話を携帯して確認することが必要な場合もあります。ドコモは、そのままアメリカでも使えますが、au などでは使えないことがあります。電話をすることを恐れてはなりません。アメリカにいても英語をまともに話せない人は多いのです。度胸を付けるためには、外国旅行は欠かせません。若者は外国を目指してください。女の子は、おばさんと一緒に二人以上です。

左ハンドルで注意すべきは、左折です。70歳以上の方は諦めてください。慣れてきた頃が要注意です。助手がいつも注意してください。私の妻のように助手席で眠っていたり、食べてはいけません。右折は、信号が赤でも直進車がなければ曲がれます。踏切では止まってはいけません。横断歩道に人が立っていたら止まらなければなりません。スクールバスが止まっていたら、追い越してはいけません。

レンタカーはフルの保険にしましょう。事故をしても、何もせずに保障されます。違反して、車検証を直ぐに出さなかったら、二重の罰金を受けました。書類作成中に見つけて出しても駄目でした。パトカーが来たら、車を横に寄せ、車から出てはいけません。窓を開け、手をハンドルにかけ、おとなしくしています。内ポケットからあわてて財布や免許証を出そうとして撃ち殺されても文句は言えません。アメリカの警察官は非常に権威があります。

そういう面で1周すれば戻れるし、車も少なく、ハイウェイもないグアムがアメリカン・ドライブのスタートには良いでしょう。私は間違えて軍の施設に入ってしまったが、丁寧に外に誘導してくれました。

ハワイのオアフ島の繁華街はビギナーには難しいのですが、とにかく、ナビの通りに走ってください。ワイキキは通行止めで歩行者だけにすることが多いので要注意です。サーフィンで有名なノースショアあたりのドライブは本当に快適です。そちらにはポリネシアン・カルチャーセンターもあり、ダンスショーが食事をしながら楽しめます。車でなければいけないのがハナウマ湾で、シュノーケルで見る熱帯魚は子供たちにも大うけです。セットを安く貸してくれるので、ぜひ行ってみてください。

カウアイ島には日本人は殆どいませんが、車が少ないのでドライブが楽しめ、ゆっくり楽しむには良い所です。私たちはスキューバとゴルフ **Kauai Lagoons Golf Club**、凄まじく景色の良い所でした。

3. アメリカのドライブ

アメリカ人はスピードを出します。ロサンゼルスやサンフランシスコなどの大都市では、交差するところや出口では10車線くらいになります。また、フリーウェイには **express** レーンがあり、しばらく下りない車は、そこを走ります。前の車の通りにそちらに行ってしまうと、下りたくてもおりられません。英語の表示を運転しながら読んでられないので、あらかじめ地図を見ておくことをお勧めします。

アメリカでもカナダでも、まっすぐ走ると千尋の谷底などというカーブや道路脇にガードレールがありません。下りの時はこれが怖い！ヨセミテに8月に行ったらドカ雪が降り、路面が滑るのにガードレールがなく、途中の崖に落ちてしまった車が引っかかっている・・・、夜が遅いのでゆっくりと帰ったけれど、身体中が強張った恐怖体験でした。

私は若い時は、アメリカにアウトドアの研修に行き、カルフォルニア南部の山では眠れないので鉄格子のある山小屋から出て危うくクマに襲われるとこでした。マウンテンマン（山人）たちと山の中で過ごし、インディアンテントに寝たり、夜中にダッチオーブンで作ったアップルパイと豆の味の効いたコーヒーも忘れられません。ミシシッピーで巨大な乾燥蟻を食べて感心され、ドライブに連れて行ってもらったら、隣のアーカンソーまで往復500キロくらい走り、数千人の入る野外劇場で受難劇をしていました。レイクタホ周辺の山歩きでは、100mもある巨大松から50センチもある松ぼっくりを拾ってきました。そこからハリウッドへの約1100キロを19時間の運転で夜中の1時過ぎに着いたことも忘れられません。

アメリカ人はとにかく車が好きなのです。ドライブウェイでの食事も、田舎のほうが面白く、ステーキや肉は、これぞアメリカ！という感じです。マリヤ・クリニックが提携している GPL 研究所というのは Great Plains、つまり大平原研究所ということで、カンザス州にあります。面白いことに、カンザスシティというのはミズーリ州にあり、日本で最初にマリヤ・クリニックが始めることになった大量ビタミン C の点滴療法を教わりに行ったのは、カンザス州ウィチタのリョーダン博士の大きな研究所でした。先導するリョーダン博士の車は 90 マイルを超え、必死について行ったのは忘れられません。一緒に行った長女が奥様に気に入られて、大邸宅に泊まらせていただきました。

ミズーリ州やカンザス州はハイウェイも縦横に走っていますが、田舎道路を走ると、緑の野に教会が建っており、バイブルベルトと呼ばれる信仰深き人々の住む美しい所です。シカゴの夜景も美しく、アメリカというとカルフォルニアの砂漠をイメージする人がいますが、実は緑多き豊かな土地です。

4. カナダにはボロ車はない！

カナダの道路には「これから先 100 キロガソリンスタンドなし。」などの表示があり、それどころか、家もありません。そして冬は寒いので、ボロ車を見ることは殆どありません。事故を起こしたら、死ぬ確率が高いのでしょうか。外国では、飲み物や食べ物を用意して運転するほうが無難です。

次男とトロントからナイアガラまで 150 キロを運転してパスポートを忘れたことに気が付き、また往復して国境を越え、バッファローに行き、地図もないので途方に暮れながら夜中にホテルに着き、近くのレストランで頬張った子豚の骨付き肉は、命が蘇ってくるような力を感じました。バッファローに行く途中のエリー湖を渡るピースブリッジの高さには、怖くて肝を潰しました。オープンなので、橋の壁を飛び越えそうなのです。次男の留学ビザを取るために命がけだったのです。

カルガリーからゴルフバックを後ろに乗せて、一人で氷河ハイウェイをドライブし、あまりに見事な景色に涙を流しながら走りました。コバルトブルーの流れの中でゴルフをしたバンフ、そして山頂から見た凄まじくきれいなジャスパーのゴルフ場に予約して翌朝プレイした後 500 キロを運転して夜中の 10 時過ぎにカルガリーの空港に着いた無茶な行動も忘れられません。

その美しい景色を見せに、後日、妻を連れてバンクーバーからカムループスを経てジャスパーに着き、翌朝予約したゴルフ場で遅刻だと言われ、時差が 1 時間早まっていることに気が付いたほど長い距離を運転しました。そのジャスパーパークロッジとゴルフ場はこれまでの人生で最も感慨深い美しい思い出です。そこから、わざわざ 1 時間運転してカナディアンロッキーの温泉に入りに行きました。水着で温かいお湯に数時間入ります。本を読む人もいます。その後、妻にコロンビア大氷河を見せ、ハイウェイではなく裏道を走ると澄んだコバルトブルーのせせらぎが川になり、滝となっていました。レイクルーズでボートを漕ぎ、マリリンモンローの『帰らざる河』に使われたボー滝のある The Fairmont Banff Springs Golf Course でプレーしました。このゴルフコースはあまりに綺麗で夢のようです。帰りは山を越えて突然開けた壮大なオカナガン湖のほとりにあるケローナに泊まって山また山を越えて、バンクーバに帰りました。

カナダは大好きで、バンクーバー島のとてつもなく美しい庭園ブッチャードガーデンを見たことも忘れられません。帰りはハイウェイの終点がフェリー乗り場なのに驚きながら、戻りました。翌年、赤毛のアンのプリンスエドワード島もぐるっと回り、妻はアンのように踊っていましたが、大きなロボスターにかぶりつく姿は熊のようでした。日本企業が造ったという 13 キロの海上橋を渡り、要塞都市ハリファックスまでハイウェイを運転したけれど、途中が工事で道がわからなくなってしまいました。1 時間以上迷い、やっと教えてくれた女性の指示通りにホテルに着いたのですが、その時は妻も緊張していました。

＜ 診 療 時 間 ＞

月曜～金曜（午前 8 時 30 分～12 時 10 分、午後 2 時 30 分～5 時 30 分）

土曜（午前 8 時 30 分～12 時 10 分、午後 2 時～4 時）

休診日 木曜、日曜、祝日、年末年始

- ・各種健康保険取扱機関
- ・生活保護指定機関
- ・介護保険取扱機関
- ・特定疾患取扱機関
- ・結核予防法指定機関
- ・自立支援医療機関
- ・身体障害者認定医
- ・各種健康診断
- ・小中台小学校校医
- ・栄養療法(分子整合医学)



(携帯サイトへ)